

## シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉の原理Ⅱ		授業の種類  ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者  平川 泰士	
授業の回数  15回	時間数(単位数)  30時間(2単位)	配当学年・時期  2学年2学期		必修・選択  選択	
<p><b>【授業の目的・ねらい・到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者への関わりについて、精神保健福祉士の固有の価値について理解できるようになる。</li> <li>・精神保健福祉士の基本的な理念、視点、関係性と、専門職としての倫理を理解できるようになる。</li> <li>・精神保健福祉士を規定する法を把握し、求められる社会的機能・役割を理解できるようになる。</li> <li>・精神保健福祉士の社会的役割と価値を学び、専門職としてのアイデンティティを身につける。</li> </ul>					
<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神医療の現状と特徴</li> <li>2 精神保健福祉における家族の位置づけと社会生活の状況</li> <li>3 精神保健福祉士の資格化の経緯：国家資格化までの活動</li> <li>4 精神保健福祉士の資格化の経緯：Y問題と倫理綱領規定まで</li> <li>5 精神保健福祉の価値と原理</li> <li>6 精神保健福祉の視点</li> <li>7 精神保健福祉における専門職と当事者との関係性</li> <li>8 精神保健福祉士法における専門職としての役割と規定</li> <li>9 精神保健福祉士の倫理：倫理綱領・専門職団体</li> <li>10 精神保健福祉士の業務と特性</li> <li>11 精神保健福祉士の職場・職域：医療機関、障害者福祉領域</li> <li>12 精神保健福祉士の職場・職域：行政・教育・司法領域</li> <li>13 精神保健福祉士の業務指針及び業務分類の概要</li> <li>14 精神保健福祉士の業務指針及び業務分類に基づく具体的な業務の理解：病院業務</li> <li>15 精神保健福祉士の業務指針及び業務分類に基づく具体的な業務の理解：地域業務</li> </ol>					
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b></p> <p>別途指定</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b></p> <p>講義時の指定の課題・提出物(30%)、期末試験(70%)を総合し、評価を行う。</p>		